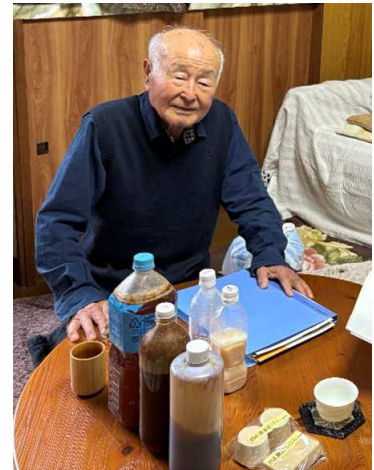


# 生ごみが減り、野菜は美味しく、水質保全。一石三鳥の『EMボカシ』活用術！

環境保全推進事業補助金の対象であるEMボカシを長く愛用している深浦地区にお住まいの橋本 憲<sup>のりゆき</sup>之さんからお話を伺いました。EMボカシとは、米ぬかなどの有機資材をEM-1またはEM活性液で発酵させて熟成、乾燥し粉状にしたものです。

橋本さんは30年間使用しており、長年使い続けてきたからこそ実感している、その効果と活用術を紹介します。



**Q:EMボカシを使い始めたきっかけと用途を教えてください。**

**A:**元々、畑で野菜を育てるために使いはじめました。それからは生ごみ処理機に入れて使用したり、水路に撒いたりなど様々な用途で現在も活躍しています。

**Q:EMボカシ作成方法と作成後の保存期間を教えてください。**

**A:**まず、EM-1(30cc)、とうみつ(30cc)、水(3.5ℓ)を混ぜて希釈します。その希釈液を米ぬか(15kg)、油カス(4kg)とよく混ぜ合わせ、密封状態にして直射日光の当たらない場所で発酵させます。夏なら2週間、冬なら気温が低いので2ヶ月くらいかけて発酵が完了します。作成後は密封が十分にできていれば半年ほど使用できます。



混合希釈液

混合希釈液を

米ぬか、油カスと  
混ぜ合わせ投入



EMボカシ密封容器

**Q:EMボカシ使用による効能を教えてください。**

**A:**畑に撒くと硬かった土が半年ほどで柔らかくなり、野菜が美味しく出来上がります。EMボカシ密封容器に生ごみを入れておくと、生ごみが分解されて肥料になるため家庭ごみが減ります。また、水路に撒くと汚れが溜まりにくく、水路掃除が楽になります。

**Q:EMボカシ以外で使用している水質保全関連製品があれば教えてください。**

**A:**EM廃油石けんと粉せっけんを使用しています。粉石けんを使用する際は、粉石けん(50g)、EM-1、とうみつ、米のとぎ汁の混合液(50cc)、水(400cc)で石けんが作成できます。橋本さんは手洗いや洗濯だけでなく、台所掃除でも使っており、ステンレス部分でも汚れが落ちてピカピカになるそうです。



橋本さんのように、EMボカシを日々の生活に取り入れることは、水質保全やゴミ削減につながります。住民の皆さんも身近なところから環境に優しい暮らしの輪を広げていきましょう。